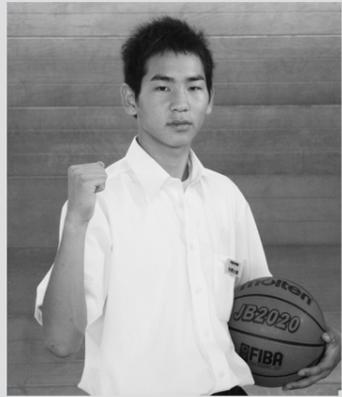


平泉中の今野大貴さんが 岩手県選抜の代表に！

日韓青少年スポーツ交流事業



県選抜に選出され今後の活躍が期待される大貴さん

日韓青少年夏季スポーツ交流事業バスケットボール競技に、平泉中2年の今野大貴さんが県選抜チーム（代表12人）の一員として韓国選抜チームとの交流戦に参加しました。同事業は2002年サッカーワールドカップ大会の日韓共同開催を契機に各種スポーツ交流を行い、両国の友好とスポーツの振興を図るため開催されています。今回バスケットボール競技の代表として岩手県が参加することになり、その一員として大貴さんが選抜されました。

大貴さんは小学2年生からバスケットボールを始め、現在は平泉中バスケットの中心的選手として活躍しています。選抜チームでは、主にセンターとして相手チームにゴールを許さない守備的なポジションをこなし、チームの勝利に貢献しました。大貴さんは「選抜の仲間や相手チームは、基礎がしっかりできていて、ひとつひとつのプレーがしっかりしていた。新人戦が近いので、もう一度基礎をしっかりと学び、強豪チームに勝てるよう頑張りたい」と次の目標に向けて、決意を新たにしています。

大貴さんをはじめとする平泉中バスケット部や各部の活躍が期待されます。

平泉中の千葉遥奈さん、 千葉夕美夏さんが出場

東北中学校体育大会 ソフトテニス競技

平泉中ソフトテニス部の千葉遥奈さん・千葉夕美夏さんペアは、7月に開催された岩手県中学校総合体育大会で3位入賞を果たし、8月7日に秋田県大館市で開催された東北中学校体育大会ソフトテニス競技に出場しました。

二人は、今年3月の都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会の岩手県代表選手として、全国大会の舞台を経験。再度、全国大会を目指して大会に臨みました。

大会初戦では福島県の大葉中と対戦しました。大葉中ペアは、前衛選手が14歳以下の日本代表で、今大会でも個人戦で優勝した強豪。そんな強豪が相手でしたが、2、3、4ゲーム目は全てジュースとなる接戦となりました。特に2、3ゲーム目は先にゲームポイントを取るなど二人は非常に善戦。自力に勝る大葉中ペアに1、4で惜しくも敗れましたが、二人とも強豪相手に臆することなく、随所に自分たちのプレーを発揮していました。

熱戦！町内野球大会

町野球協会（阿部幸一会長）が主催する町内野球大会が8月13日から16日にかけて、町営長島球場で開催されました。今年で61回を数える同大会は、戦前から毎年恒例で開かれてきた長い歴史を持つ人気が高い大会。17行政区約300人が参加しました。今大会では、連覇を目指す9区とベテラン勢の活躍が目覚ましい8区が決勝に進みました。決勝戦では、両チーム3点ずつ取り合う互角の展開。その後、自力に勝る9区が追加点を上げ、見事優勝を勝ち取りました。試合結果は次の通りです。

【準決勝】
8区 7 0 7区

【決勝】
9区 8 1 15区

【個人賞】
最優秀選手賞 鈴木祐輔
（9区）優秀選手賞 菅原拓哉
（8区）打撃賞 木村孝夫 8区



若い力の活躍で連覇を果たした9区チーム

平泉クラブ（平泉中）が優勝

県少年軟式野球新人大会 西磐井予選

第8回県少年軟式野球新人大会西磐井予選の決勝が7月31日、町営長島球場で行われ、地元平泉クラブ（平泉中）が4年ぶりの優勝を果たし、大槌町で開催される同県大会に出場します。

【決勝】平泉 5 4 花泉



県大会出場を果たした平泉クラブ

平泉小学校

第2学期スタート

今年の夏休みは猛暑の連続で、プールサイドの温度計が40度を記録した日もありました。8月19日には、日に焼けた笑顔の子どもたちが元気に登校し、86日間の2学期がスタートしました。始業式では校長から、各学年に頑張ってもらいたい



各学年の2学期の目標

力作ぞろい 夏休み作品

8月末の4日間に、多目的ホールを会場に、夏休み生活作品展が行われました。休みにじっくりと時間をかけて取り組んだ作品が学年ごとに展示されました。今にも動き出しそうな海の生き物や夏の虫などの工作。細かなところまで丁寧に仕上げ



力作ぞろいの夏休み生活作品展

平泉中学校

3年間で133キロ完歩

平泉を悠々と流れる大河北上川の源流を見に行こう。3年生は夏休みの親子行事で、毎年40数キロずつ歩き、今年ついに若手町にある北上川の源流弓頭（ゆがしら）の泉に辿り着きました。1年生では平泉から北上、2年生の時には北上から盛岡まで。そして今年には盛岡八幡宮での厳粛な合格祈願のあと、7月24日午後4時、源流を目指して元気に出発。途中、ものすごいゲリラ豪雨にも遭遇。足にマメをつくりましたが、友達と励まし合っただけのナイトハイイク。父母の皆さんが心を込めて準備してくださった飲み物や食事で、何度も生き返りました。そして、翌朝6時に北上川の始まりの一滴が流れ出る泉に到着。千葉秋佳さんは「何で私は今歩いているんだらう？」と思いながら、ただ前に進んでいました。でも、ゴールした時の達成感、はるかに脱力感を上回っていました。北上川の源流の水も冷たくておいしかったです。友達と長い時間話しながら歩けたのが支えだったと思います」と133キロ歩ききった感想を話してくれました。

解散式で栗本学年長は「みんなには忍耐力と精神力が付いた。大河も一滴の水から始まる。小さな努力の積み重ねで、受験という壁も乗り越えてほしい」と生徒の努力を讃え、受験生にエールを送りました。

長島小学校

体験を通して心豊かに

2学期がスタートし、真っ黒に日焼けした元気いっぱいの子どもたちが学校に戻ってきました。夏休みには、子供会や地域の行事に参加したり、さまざまな体験活動に参加したりして、一回り大きく成長した様子があががわりました。3年生は、8月4日に、平泉町福祉協議会主催の「さわなり苑」で行われたサマーボランティアスクール

に参加しました。施設見学では、広いエレベーターに驚き、ベッドでも車いすでも乗れなければならないと説明を受け納得しました。交流会では、一緒に風船ラリーゲームや玉入れゲームを楽しみました。紅白の玉を入所者の方に手渡しするなど思いやりのある態度も見られました。車いす体験では、車いすを思うように動かすことが大変難しいことが分かりました。短い時間でしたが貴



貴重なボランティア体験の様子

重な体験ができました。2学期も地域の皆さまにお世話になります。ご支援よろしくお願ひします。



133キロを完歩した3年生